

科目名 (科目番号)	医療安全管理学 (時間割参照)	教員名 村中 博幸	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		木1 2	B312研究室	
授業概要	診療放射線技師の業務拡大にともない、平成28年度から新たに「医療安全管理学」が設けられることになった。診療放射線技師には、医師や看護師と連携して、造影剤の投与の際に、感染症や副作用に適切に対応する能力が求められている。本授業では、安全管理に関する基本的な考え方を理解した上で、造影剤の薬理学的作用、アナフィラキシー等の重篤な副作用、その副作用が発生した場合の一次救命措置、そして業務上問題となる感染症の制御等について、学習する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医療安全の基礎	到達目標:医療安全用語理解し説明できる。 学習内容:医療安全用語、ヒューマンエラーについて学習する。				
	2	リスクマネジメントと医療安全	到達目標:リスクマネジメントを理解し、その対応について説明できる。 学習内容:事例から学ぶリスクマネジメントと医療安全管理体制について学習する。				
	3	感染対策・抜針・チーム医療	到達目標:そのポイントを理解し説明できる。 学習目標:感染対策と抜針、止血、チーム医療について学習する。				
	4	造影剤使用時の副作用	到達目標:造影剤の副作用について理解し説明できる。 学習目標:アナフィラキシーショックなどの造影剤使用時の副作用について学習する。				
	5	画像管理と個人情報保護	到達目標:適切な画像管理を理解し個人情報保護について説明できる。 学習目標:電子保存の三原則、個人情報保護について学習する。				
	6	放射線検査の安全に関する留意点-1	到達目標:MR検査における安全性についてを理解し説明できる。 学習目標:MR検査の安全に関する留意点について学習する。				
	7	放射線検査の安全に関する留意点-2	到達目標:各検査の安全に関する留意事項を理解し説明できる。 学習目標:各種検査の安全に関する留意点について学習する。				
	8	放射線機器の安全管理	到達目標:医療機器の安全管理を理解し説明できる。 学習目標:医療機器の保守および安全管理体制についても学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験 (100%)						
教科書							
参考図書	放射線技術学シリーズ:医療安全管理学 新・医用放射線科学講座 医療安全管理学	日本放射線技術学会監修 石田隆行監修	オーム社 医歯薬出版				
教員からのメッセージ	医療安全に関係する参考書やインターネット・新聞上の最新のニュースも活用して、しっかり学習してほしい。						